

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 28 日 (2009.5.28)

【公開番号】特開 2007-289810 (P2007-289810A)

【公開日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2007-043

【出願番号】特願 2006-117816 (P2006-117816)

【国際特許分類】

B 0 3 C 1/00 (2006.01)

B 0 3 C 1/02 (2006.01)

B 0 3 C 1/12 (2006.01)

B 0 1 J 38/00 (2006.01)

B 0 1 J 23/94 (2006.01)

【 F I 】

B 0 3 C 1/00 B

B 0 3 C 1/02 A

B 0 3 C 1/12

B 0 1 J 38/00 Z

B 0 1 J 23/94 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 4 月 15 日 (2009.4.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

触媒と着磁性金属製充填補助材の混合物から磁石により当該金属製充填補助材を捕集し、触媒と金属製充填補助材とを分離する方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

本発明の触媒と金属製充填補助材の分離方法は、着磁性の金属製充填補助材（以下、単に「金属製充填補助材」とも言う）を用い、磁石によりこれを捕集し分離操作を行う方法である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明の金属製充填補助材の分離方法は、種々の触媒と金属製充填補助材に適用されるが、固定床反応で使用する気相接触酸化反応用の触媒と金属製充填補助材との分離を例として以下に説明する。